

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2000-353413 (P2000-353413A)
 【公開日】平成 12 年 12 月 19 日 (2000.12.19)
 【出願番号】特願 2000-103594 (P2000-103594)
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 1 V 8/00
 G 0 2 B 5/02
 G 0 2 B 6/00
 G 0 2 F 1/13357

// F 2 1 Y 103:00

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 A
 G 0 2 B 5/02 C
 G 0 2 B 5/02 B
 G 0 2 B 6/00 3 3 1
 G 0 2 F 1/1335 5 3 0
 F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 6 日 (2004.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源と、該光源に対向する少なくとも 1 つの光入射面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子と、該光偏向素子の出光面上に配置された拡散率が 5 ~ 10 % である光拡散素子とからなることを特徴とする面光源素子。

【請求項 2】

光源と、該光源に対向する少なくとも 1 つの光入射面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子とからなり、光偏向素子は、拡散率が 5 ~ 10 % である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が連設したレンズ面を有し、該レンズ面が入光面となるように前記光出射面上に配置されていることを特徴とする面光源素子。

【請求項 3】

拡散率が 5 ~ 10 % である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が並列に連設したレンズ面を有することを特徴とする面光源素子用レンズシート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、本発明の面光源素子は、光源と、該光源に対向する少なくとも 1 つの光入射

面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子と、該光偏向素子の出光面上に配置された光拡散素子からなり、前記光偏向素子は導光体からの出射光を導光体の光出射面に対して偏向させる機能を有し、前記光拡散素子の拡散率が5～10%であることを特徴とするものである。また、本発明の面光源素子は、光源と、該光源に対向する少なくとも1つの光入射面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子とからなり、光偏向素子は、拡散率が5～10%である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が連設したレンズ面を有し、該レンズ面が入光面となるように前記光出射面上に配置されていることを特徴とするものである。さらに、本発明の面光源素子用レンズシートは、拡散率が5～10%である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が連設したレンズ面を有することを特徴とするものである。